



2023年7月6日

各 位

会 社 名 B C C株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 伊藤 一彦
(コード：7376 東証グロース)

問 合 せ 先 取締役副社長 管理本部長 岡林 靖朗
(TEL 06-6208-5030)

「ヘルスケア DX ビジネス新規事業創出ワークショップ」開催のお知らせ

当社は、経済産業省の令和4年度補正「地域新成長産業創出促進事業費補助金（地域DX促進環境整備事業（業種等特化型DX促進事業））地域DX支援活動型（ア 業種特化型）」（以下、本事業）の取組みのなかで、経済産業省ヘルスケア産業課 山崎牧子氏の基調講演を含む岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 特任准教授 志水武史氏をメイン講師とした「ヘルスケア DX ビジネス新規事業創出ワークショップ」（以下、本ワークショップ）を、全3回（2023年7月26日、8月8日、9月1日）にわたり、開催することをお知らせいたします。

なお、本事業について、当社は「大阪ヘルスケア DX 事業創出コンソーシアム」（以下、本コンソーシアム）の代表機関として申請し採択されております。本事業を推進するにあたっては、本コンソーシアムが主催する「大阪ヘルスケア DX 創出推進事業キックオフセミナー ヘルスケア DX 新規事業創出に向けて」を2023年6月30日に開催し、90名以上の方にご参加いただきました。

osaka healthcare DX creation drive project

ヘルスケアビジネスの動向 デジタルヘルス人材育成 ヘルスケアDX事例

ヘルスケアDXビジネス新規事業創出ワークショップ 全3回

第1回 イントロダクション 7.26 水

第2回 最新技術をヘルスケアDXにどう活かす? 8.8 火

第3回 ヘルスケアDXビジネスプラン構築 9.1 金

大阪産業創造館にてオフライン開催

14:00-16:30

1. 本ワークショップの開催概要

ワークショップ名	「ヘルスケア DX ビジネス新規事業創出ワークショップ」
開催日時	第1回：2023年7月26日（水）14:00～16:30 第2回：2023年8月8日（火）14:00～16:30 第3回：2023年9月1日（金）14:00～16:30
会場	大阪産業創造館 17F（大阪府中央区本町1-4-5）
定員・参加費	20名・無料
対象	医療・看護・介護・福祉・健康分野において、健康寿命延伸につながる製品の開発やサービスの展開を行っている企業の方、もしくは起業をめざしている方、DX新規事業をご検討の方
登壇者	【第1回（7月26日）：イントロダクション】 ・基調講演：「ヘルスケア産業の未来図」 経済産業省ヘルスケア産業課 山崎 牧子氏 ・講義：「ヘルスケア DX ビジネスの方向性」 岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 特任准教授 志水 武史氏 ・ビジネスプラン発表及び交流会 【第2回（8月8日）：最新技術をヘルスケア DX にどう活かす？】 ・講義：「ヘルスケア DX の事例とビジネスモデル解説」 岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 特任准教授 志水 武史氏 ・基調講演：「ここまできた！AIをビジネスに活用するには？」 株式会社エル・カミノ・リアル 代表取締役 木寺 祥友氏 ・オープンディスカッション 【第3回（9月1日）：ヘルスケア DX ビジネスプラン構築】 ・講義：「ヘルスケア DX ビジネスの成功確率を上げるには」 岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 特任准教授 志水 武史氏 アルケア株式会社 ヘルスケア事業部長 関 良一氏 ・参加者ディスカッション及び発表
主催・共催	主催：大阪ヘルスケア DX 事業創出コンソーシアム（事務局：BCC株式会社、公益財団法人大阪産業局）
お申込み	https://www.sansokan.jp/events/eve_detail.san?H_A_NO=41029 ※公益財団法人大阪産業局の申込フォームとなります。

2. 本事業について

本事業では、地域企業で取組が遅れているDXを強力に推進することで、地域企業の生産性を向上させることを目的としています。地域の主力産業が抱える課題に精通した産学官金の関係者が一体となったコンソーシアムを整備し、地域企業がDXを実現させるために必要な経営・デジタルに関する専門的知見、ノウハウ、及び人的リソースを補完するための各種支援活動に要する費用を補助するものです。

本事業に関する参考 URL（経済産業省）

<https://www.meti.go.jp/information/publicoffer/kobo/2023/k230213005.html>

3. 大阪ヘルスケアDX創出推進事業について

ヘルスケア産業において従来型の食・運動・睡眠等各種の健康サービスを提供する企業が様々にあり、近年のセンサー技術の進化やスマートフォンの普及により健康状態の可視化技術も多くリリースされています。しかしながら、デジタル系企業と医療・介護分野を中心としたヘルスケア企業の融合は進みにくく、それぞれの企業が独自の考えで事業を推進しているのが現状です。そのため、デジタル系企業ではさらなるヘルスケア関連のニーズ深耕を、ヘルスケア企業ではアナログベースの事業構造をDX化していく必要があると考えます。大阪ヘルスケアDX推進事業では中小・ベンチャー企業のヘルスケアDXの事業計画書の作成を目的にDX戦略策定、サイバーセキュリティ対策の個別伴走支援を行います。

以上